

ひょうごの遺跡

昭和60年3月30日発行
兵庫県教育委員会
社会教育・文化財課
兵庫県埋蔵文化財調査事務所
〒652 神戸市兵庫区荒田町
2丁目1番5号
TEL (078) 531-7011(代)

〔題字 教育長 井野辰男書〕

2万年前の集落址

——板井・寺ヶ谷遺跡(多紀郡西紀町上板井)——

いたい てら だに
板井・寺ヶ谷遺跡は、木・石・骨で道具を作っていた旧石器時代のうちでも、後期旧石器時代(約3万～1万年前)の遺跡です。

兵庫県内では約100ヵ所、この時代の遺跡が知られていますが、広範囲な発掘調査が行われたのはこの遺跡が初めてです。また、この遺跡は、⁽¹⁾始良丹沢火山灰をはさんで上下2層で石器が出土することや、遺跡周囲にある泥炭層の存在など、全国的にも調査例の少ない遺跡です。

遺跡は、多紀郡⁽²⁾西紀町上板井にあり、近畿自動車道舞鶴線建設に伴って調査を行いました。発掘面積は7000㎡あり、調査は昭和58年12月から始め、昭和60年3月で終了しました。

旧石器のほか中世の建物跡や井戸・土壙墓(穴

を掘り遺骸を直接埋葬した墓)などがありました。その他に、この遺跡では、弥生時代から古墳時代の貯蔵穴と思われる土壙群もみつっています。

旧石器時代の遺物は、この遺構面を30～50cm掘り下げると出土しはじめます。

旧石器時代の調査は、遺跡のほぼ全域にひろがって堆積している、始良丹沢火山灰を手がかりにしてすすめました。その結果、火山灰の上下で石器の集中する場所がみつき、上層・下層の文化層として区別できることがわかりました。それぞれの層に、槍のさきなどにつけられた角錐状の石器やナイフ状をした石器、木や骨の加工に使ったと考えられる石器(削器)、獲物



石器出土集中地点

を解体したり皮をなめしたりする機能をもった石器(搔器)などがあります。

次に、遺跡の全体写真から旧石器時代の地形を説明しましょう。この写真は、下層のものですが、南に向って張り出し、黄色く写っているところが当時の陸地です。この場所では、約10m四方の範囲で石器が集中して出土する地点が、上層で5ヵ所、下層で7ヵ所ありました。

その周囲から3～5cmほどの小円礫が集中した遺構や、20～30cm程度の石数個を配した遺構などから、これらは家族の生活跡を思わせます。

黒く写っているところは、泥炭層の堆積した

場所で、湿地状の沼地です。東側と南側に泥炭層が広がっているのも、生活域は湿地にはさまれていたことになります。泥炭層は、約1m堆積していますが、火山灰や洪水によって流された砂利層をはさんで3層に分離できます。陸地近くの泥炭層からは、木の根や埋れ木が見つかっていて、遺跡周辺の沼地はそれほど深くなかったようです。

このように、この遺跡では居住区域と低湿地が明瞭な境界をもつことが確かめられました。石器の集中して出土する地点は泥炭層付近まで広がっていたり、泥炭層中からも石器が十数点



板井・寺ヶ谷遺跡の全体写真



礫土壌(下層)



局部磨製石斧(下層)



泥炭層の断面



泥炭層中の埋れ木

出土していたりすることは、湿地の間近かまで生活域であったことがわかります。

旧石器時代の調査は、火山灰の降った年代がはっきりとしている、始良丹沢火山灰の発見によって大きく進展しました。つまり、上層の遺物は2万2千年前よりも新しく、下層はそれよりも古くなるということです。

この遺跡から出土する石器の石材は、瀬戸内地方から運び込まれたサヌカイト(安山岩)と、丹波産のチャート(硅岩)で占められています。約3500点の石器総数のうち両者の比率は、ほぼ同量です。石材の割り方も非常に特徴的で、サヌカイトは瀬戸内地方、チャートは中国山地の石器製作とよく似た状況を示しています。両者が同じ遺跡で出土するのは、この遺跡が両文化の接触地点になっていると考えてさしつかえな

用語解説

- (1)旧石器時代…約200万～1万年前までの時代を呼び、約3万年前を境として前期と後期に大別されている。
- (2)始良丹沢火山灰…現在の鹿児島湾最奥部から噴出した火山灰で、A T(始良丹沢火山灰)と略

いようです。この問題は、遺物の整理作業が終了しないと明確な答えは出せませんが、下層ではサヌカイトが主体となる石器集中地点と、チャートが主体となる集中地点とに分れており、興味深い事実を提供してくれました。

泥炭層もまた、旧石器時代の生活を知る上の宝庫といえます。石器の使用年代も泥炭層の放射性炭素による年代測定の結果が明らかになれば、いっそう正確なものになるでしょう。泥炭層は、石器を出土する層や始良丹沢火山灰との対比で、数千年間にわたって堆積したものであることはまちがいありませんが、泥炭層中に大量に入っている植物や花粉などによって、遺跡周辺の自然環境復原に、重要な情報を与えてくれるものと期待されます。

称されている。噴出年代がおおよそ2万2千年前とはっきりしていることや、東北地方まで広く降下しているため、考古学では基準層として石器の年代をきめるために用いられている。

近畿地方最古の後期旧石器時代遺跡

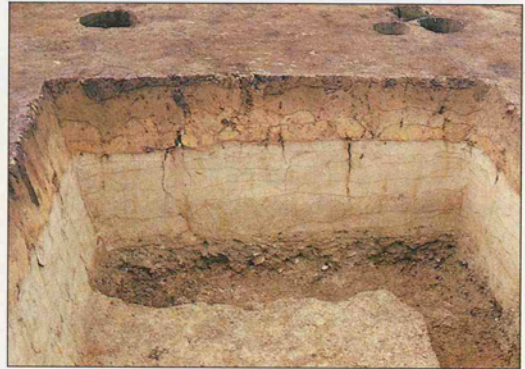
——春日・七日市遺跡(氷上郡春日町七日市)——

春日・七日市遺跡は、氷上郡春日町七日市に所在する、後期旧石器時代～平安時代にわたる遺跡です。遺跡は、由良川の一支流、竹田川の左岸段丘上にあつて、東西0.5km、南北1km以上の広がりを持ち、県下でも最大規模の遺跡と考えられます。

本遺跡ではこれまで、数次の調査がおこなわれていますが、今回試掘調査によって、さらに下層の灰白色の粘質土層中に後期旧石器時代の文化層が検出され、その広がりも7000㎡以上におよびことが確認されました。

春日・七日市遺跡で出土した後期旧石器時代の遺物は、ナイフ形石器・掻器の他、骨などにミゾを刻むための道具である、細長い溝状の剥離によって刃を作りだした石器(彫器)、細かな刃こぼれの見られる石器素材にする目的で母岩から剥離された石器(剥片)など約20点をはじめ、石器製作がおこなわれたことを示す母岩から素材の剥片を剥ぎとった残りの岩(石核)や、石器製作の過程で生じる石屑(砕片)など約2500点に達しています。これらの遺物の中には、石器製作過程で割られた石が、接合する例が多数認められることから、製作の工程が復原できるものと思われます。石器は、ほとんどがチャートを用いて作られており、サヌカイトを多用する瀬戸内沿岸地域とは好対照をなしています。また、石器の形態も特徴的であることから、瀬戸内沿岸地域とは異なる文化圏があったものと思われる。

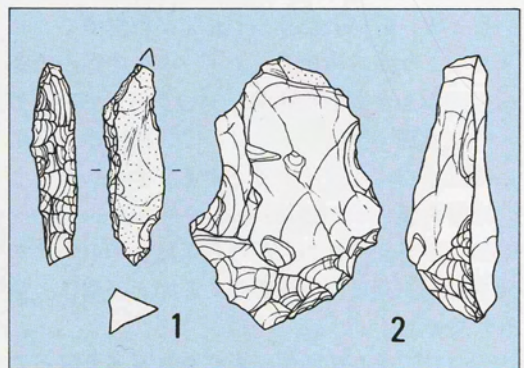
石器を包含する灰白色シルト層上には、始良丹沢火山灰層が厚く堆積しており、このことから石器の年代は2万数千年以前と考えられ、いまのところ板井・寺ヶ谷遺跡よりも古く近畿地方では最古の遺跡に属するものと思われます。今後の調査によって遺跡の範囲がさらに広がり、後期旧石器時代集落の全容が明らかになる可能性も高く、また、より古い文化層の存在も予想されており、全国的にも極めて重要な遺跡といえるでしょう。



地層断面…橙色に見える部分が始良丹沢火山灰層。遺物はその下層の灰白色シルト層より出土している。



遺物出土状況



出土遺物実測図

遺跡散歩

——大山荘とその周辺の遺跡——

＜交通機関＞

国鉄福知山線丹波大山駅下車。駅前の道を国道へ出て、神姫バス丹波大山停留所から、免原行宮田下車。板井・寺ヶ谷遺跡まで徒歩15分。

今回は、篠山盆地の西北部に位置する大山荘とその周辺の遺跡を紹介しましょう。

国鉄丹波大山駅に降り立つと、篠山川の対岸にひろがる階段状の地形が望めます。そこは14世紀の初め、大山荘と宮田荘との間で田の水をめぐって争った西田井村と呼ばれる場所です。

西田井村からさらに北へ足をのぼすと、西紀町の中心地宮田にでます。このあたりから近畿自動車道舞鶴線の工事現場がみえてきます。工事に伴って数多くの遺跡が調査されました。板井・寺ヶ谷遺跡の北側に、横穴式石室内から砲弾形陶棺や銀象嵌の大刀が出土した沢ノ浦坪2号墳と、内行花文鏡などが出土した上板井古墳群があります。上板井古墳群では、中世に墳丘を利用して経塚が築かれていました。これらの古墳群の北にある小坂の集落まで行くと、明月神社古墳、四王子谷古墳群、箱塚古墳群、小坂古墳群が点在しており、懷中電燈を片手に黄泉の国をのぞくのも遺跡見学のひとつの楽しみといえるでしょう。

町を見おろす五月山にある西紀中央公民館には、口阪本遺跡出土の土器や石庖丁が展示されています。

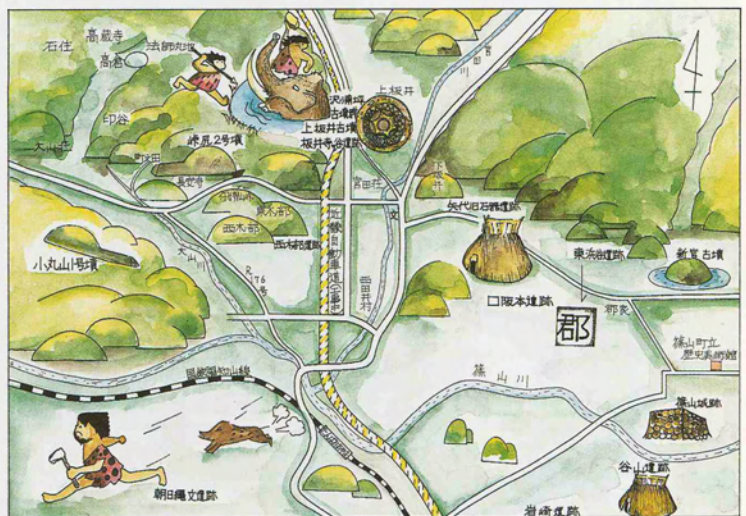
この丘からは、宮田荘一帯を眺めることができます。西方に目を移すと飛曾山峠の麓がみえ、そこは室町時代中頃に財力を蓄えた農民達が住居を構えた木ノ部村で、時の悪党や地頭から再三にわたりねらわれたとこ



上板井1号経塚

ろです。宮田荘内にある板井・寺ヶ谷遺跡では、奈良時代から鎌倉時代の建物跡が多数発掘されており、富裕農民の生まれる以前の歴史を解く鍵を与えてくれそうです。

さて、飛曾山峠を越えて大山荘に入るとそこは鎌倉時代、荘園と地頭との間に年貢をめぐる抗争がおきた場所です。商品流通の場であった市場橋や、池尻、池尻神社、一印谷、高蔵寺など文書に記載のある地名がたくさん残っています。春の一日、荘園の世界を散策してみてもいかがでしょうか。



大山荘周辺の遺跡

昭和59年度 発掘調査概要(抄) — 県教委調査分 —

番号	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	調 査 期 間	調 査 概 要
1	春日・七日市	氷上郡春日町 七日市	近畿自動車道 舞鶴線建設	59.6.4～60.3.30 60年度継続	旧石器給良丹沢火山灰層下に文化層。2500点(うち ナイフ形石器16)を検出。弥生～古墳竪穴住居址51、 墓址40(木棺墓)。奈良～平安掘立柱建物群(2棟の 大型建物を含む)。墨書土器約30。
2	河津館	氷上郡春日町 東中	〃	59.4.16～6.15	中世館址、濠、土塁の調査。瓦器、青磁他。江戸 末期建物址と石垣。
3	国 領	氷上郡春日町 国領	〃	59.6.18～11.7	弥生住居址1。中世掘立柱建物址。江戸かじ遺構 (炉、土壇他)、丹波焼、伊万里焼。
4	板 井	多紀郡西紀町 上板井	〃	59.4.9～60.3.2	旧石器給良丹沢火山灰層の上下に文化層。集石土 壇、礫群。3500点(ナイフ形石器他)。弥生土壇約 100。中世掘立柱建物址2、井戸1。人形、木簡他。
5	西木ノ部	多紀郡西紀町 西木ノ部	〃	59.12.4～60.3.30	古墳自然流路(多量の土器を含む)。奈良・平安掘 立柱建物址、井戸。斎串、緑釉約50。中世掘立柱 建物址、井戸。
6	庄境1号墳	多紀郡丹南町 大沢新	〃	60.1.16～2.28	外護列石を配した円墳。埋葬施設は横穴式石室。 埋葬面2面。須恵器約50、鉄刀(鏝に銀象嵌あり)、 馬具、耳環。墳丘下層から竪穴住居址。
7	半田山古墳群 および墳墓址	揖保郡揖保川町 半田	山陽自動車道 建設工事	59.7.19～9.16	弥生壺棺、土壇墓。弥生～古墳1号墳の埋葬施設 は木棺墓および土壇墓など8。銅鏡、銅鏃、鉄器。 2号墳は木棺墓3。ヤリガンナ他。その他6世紀後 半の木棺墓、横穴式石室。
8	中後瀬 (旧西脇散布地)	姫路市西脇 中後瀬	〃	59.10.24～11.1 60年度全面調査	平安末～鎌倉掘立柱建物址。石鍋他。
9	寺 中	洲本市 納字寺中	本州四国連絡 自動車道	59.4.26～6.19	弥生竪穴住居址、ガラス管玉。皮袋形土製品。奈 良土壇。室町掘立柱建物址他。
10	谷町筋	三原郡西淡町 志知	〃	59.6.20～12.7	弥生竪穴住居址、溝。古墳竪穴住居址、旧河道。 奈良柱穴、製塩土器他。室町掘立柱建物址他。
11	宝林寺北	龍野市揖保町 門前	太子・龍野バイ パス道建設	59.4.16～7.6	古墳旧河道。奈良～平安柱穴、土壇。中世掘立柱 建物址、井戸、墓址(溝をめぐる墓)、土壇等。 青磁、白磁他。
12	福田・片岡	龍野市誉田町 福田	〃 荒川井堰	59.4.16～12.19	古墳旧河道。古代水田址。中世掘立柱建物址(濠 をもつ館址)、井戸、土壇等。
13	玉津・田中	神戸市西区 玉津町田中	土地区画整理	59.4.23～60.3.30	弥生竪穴住居址、土壇、方形周溝墓、水田。木製 品(木戈、木庖丁他)、イイダコ壺他。古墳用水路、 旧河道、木製品。中世掘立柱建物址、土壇、溝等。 池伏祭祀遺構(土師小皿、将棋駒、独楽等)。
14	青野ダム遺跡群	三田市末西	ダム建設	59.12.10～60.2.28	古墳カマド付竪穴住居址、土壇。鉄器、紡錘車、 手捏土器。奈良掘立柱建物址、土壇。鎌倉掘立柱 建物址。
15	北青木	神戸市東灘区 北青木	県公営住宅建設	59.6.11～7.13	弥生土壇、溝、柱穴群。土器、石器、木製品。中 世遺物包含層のみ。
16	深江北	神戸市東灘区 深江北町	〃	59.10.15～12.26	奈良～平安掘立柱建物址、土壇、水田址。緑釉、 灰釉、黒色土器。
17	桑 原	三田市桑原	国鉄福知山線 複線化工事	59.5.7～7.6	弥生～古墳竪穴住居址1。土器溜り。古墳竪穴住居 址4。須恵器、紡錘車等。奈良～平安掘立柱建物址。
18	対 中	三田市対中	三田幹線古城 京口線	59.7.9～12.13	弥生土壇。奈良・平安～鎌倉掘立柱建物址、溝、 土壇、木棺墓、井戸。土師器、須恵器、瓦器、青 磁、白磁、木簡、曲物等。
19	叶堂城	三原郡西淡町 松帆	三原川河川敷 激特事業	59.5.7～7.13	縄文遺物包含層のみ。弥生土器、石器のみ。室町 ～江戸石垣、空濠、瓦窯址。
20	楠 町 (神大病院内)	神戸市中央区 楠町	神大医学部付属 病院改築	59.8.22～10.24	中世柱穴群、土壇、溝。青磁、白磁。